

## ふれあい懇談会会議録（令和元年度 第3回）

団体名 原町区保育所（園）こども園父母の会連絡協議会

開催日 令和元年11月1日（金）

時間 19時00分～20時45分

場所 原町聖愛こども園

参加者 団体関係者20名

市長、健康福祉部長、経済部長、建設部長、総合病院事務部長、健康企画担当課長、秘書課長、秘書課広報広聴係長、秘書課広報広聴係員

1. 開会の挨拶
2. 代表挨拶
3. 市長挨拶
4. 懇談会
  - (1) 小児医療関係
  - (2) 子どもの遊び場関係
  - (3) 雇用（働き手不足）関係詳細は別紙「ふれあい懇談会発言事項一覧」
5. 閉会の挨拶
6. 閉会

No.	発言者	発言内容	回答者	回答事項
1	団体	相双地方の医療圏として、今後、小児医療をどのようにしていくのか教えてください。	市	市総合病院はほとんど県立医大にお世話になっており、相馬地方の小児医療については、相馬公立病院が拠点となっています。一方、脳卒中や脳外科、産婦人科は南相馬が拠点となっています。 小児科については南相馬で入院を取れるように動いていますが、残念ながら実現できていません。ただ、最近では、他所で医師を見つけたら引き上げるといっていた県立医大の対応も軟化してきていますので、引き続き尽力してまいります。
2	団体	市立総合病院ばかりに診療を集約するのではなく、市内にある民間病院を利活用し、役割分担をするなどをご検討いただくのはいかがでしょうか。	市	県も相双地方の中における役割分担について協議会を行っており、当市でも今年から、市内医療機関で役割分担や連携などの協議を始めたところですが、しっかりと医師の先生方と話し合い、理解を得る必要がある状況です。 一方、明るい話題として、市内医療機関で看護師を相互に派遣する仕組みを始めました。今後、この取り組みを医師や薬剤師の方々にも広げていきたいと思っています。
3	団体	市立病院における小児科の午後診療の現状とそれに対する考え、現在行っている取組について教えてください。	市	市立総合病院における小児科の午後診療については、市立総合病院が25年前に現在の場所に移転する際、市内医療機関との協議の中で「診察は午前中」と取り決めていた経過がありました。 今は少し環境が変わってきていますので、医師の皆様との話し合いを進めながら、そうした制限を解くことができないか協議してまいります。
4	団体	夜間救急体制の現状とそれに対する考え、現在行っている取組について教えてください。	市	夜間の救急体制については、専門医が不在のため、受け入れできないなどのケースが出てきていることから、会議を開催し協議しているところです。短期間で即解決にはならないのは確かですが、問題意識を持って協議を進めてまいります。
5	団体	保護者へのアンケートの中で屋内の遊び場に対する要望が多いわけですが、昨年も懇談させていただいた小高区の遊び場の進捗状況を教えてください。	市	小高区閑場地内に整備をする予定で、令和2年4月から着工し、令和3年3月完成を目指して作業を進めているところです。 遊び場に配置する遊具につきましては昨年の懇談会でのご意見等を参考にしながら、アスレチック的な遊具を中心に設置する予定です。また、年齢が異なる子供さんが遊ぶ施設と言うことで年齢に応じて遊びのスペースを仕切るような対応も行う計画です。

## ふれあい懇談会発言事項内容一覧

団体名：原町区保育所（園）こども園父母の会連絡協議会

No.	発言者	発言内容	回答者	回答事項
6	団体	保護者へのアンケートの中で北泉でのバーベキュー、キャンプ場施設の整備を求める声が出ています。こちらについてどのようにお考えか教えてください。	市	北泉の将来像として、北泉海浜公園を中心に、現在閉鎖しているグリーンパークの再利用、また防災集団移転で買い取った土地などを含め、一体的に整備していきたいと考えております。また、整備に向けては民間活力を活用した「皆様が来たくするような施設」を目標にしながら、検討して参りたいと思います。
7	団体	市内の各公園において遊具の整備やメンテナンスなどの公園の整備に是非力をいれていただきたい。	市	現在、公園の長寿命化計画を踏まえながら、先に皆様から不評なトイレの整備を行った上で、遊具等も更新して行きたいと考えています。今後は、夜の森公園などを中心に、近隣公園を含め、皆様に愛される公園を目指して、少しずつ整備を進めて行きたいと考えています。
8	団体	バーベキュー、キャンプ場施設の整備について、昔、あやめ園でバーベキューが出来たと思います。海だけに拘らず、山側へ整備するのはどうでしょう。	市	市の大きな方針として、公共施設を減らしていくという方針があります。そのため、新しい施設を作るためには、慎重に、集約して整備していきたいと考えています。今後は、北泉では記念公園や、除染土の仮置き場となっているグリーンパークの跡地利用、泉官衙遺跡の公園整備などが予定されています。バーベキュー場やキャンプ場もそうした人が集まる場所でやりたいと思っていますので、お時間を頂きたいと思います。
9	団体	昔、北泉でサーフィン世界大会などが開催されたと聞いています。今もやろうと思えばすぐできるのでしょうか？サーフィンをする方が既に集まってきているようですので、そういったイベントなどで集客する方法も活性化に向けた近道になるのではないかと考えています。ご検討願います。	市	9年ぶりとなる北泉の海開きに合わせて、開催されたサーフィン大会では、市としては補助金を出し、にぎわいづくりに取り組んできたところです。来年についてもこうした取り組みへの意向があれば進めていきたいと考えております。

No.	発言者	発言内容	回答者	回答事項
10	団体	市では福島ロボットテストフィールドを核とした産業作りを進めているとご説明いただきましたが、取り組みの概要や今後の地域に根差した雇用へどのようにつながっていくかを説明いただきたい。	市	<p>福島ロボットテストフィールドは、市が原町区萱浜、下渋佐地区に工業団地として整備した70ヘクタールの土地の内、50ヘクタールを県に無償貸与して整備が進んでいる施設です。敷地の中に21の建物を建て、4月から正式なオープンになる予定です。</p> <p>この施設へは、県から約20名、市から1名の職員を派遣し、県と市で連携できる体制になっています。</p> <p>福島ロボットテストフィールドでは、陸上、水中、空中の3つのフィールドを視野にいれた様々な災害対応のロボットの研究・開発を行う施設となります。</p> <p>市との親和性に関しては、福島ロボットテストフィールドのすぐ西隣の約12ヘクタールを復興工業団地として、特に福島ロボットテストフィールドで開発・研究が予定されている分野、親和性の高い企業を誘致しながら、そこで研究・開発から製品化、製造まで市内で行える仕組みを考えています。</p> <p>既に、企業が1社進出することが決まっており、来年秋口には完成する予定で、その際には約40～50名の雇用が生まれると聞いています。また、産業用ロボットやドローンなどを製造する企業の誘致なども協議が進んでいるところです。</p> <p>なお、来年の8月21、22日には、福島ロボットテストフィールドでワールドロボットサミットが開催される予定です。これは日本国内だけではなく、世界各国から約30チーム参加で、陸上、水中、空中での様々な実証実験のコンテストが行われることとなっています。市も国や県と一緒に取り組んで参ります。</p>
11	団体	<p>今回の立て続けの台風の際に市内全域が避難の対象になったわけですが、乳幼児を抱えた保護者が避難所に避難する気になれなかったという声が多く聞かれました。</p> <p>市へ問い合わせましたが、福祉避難所は高齢者や障がいのある方など介護が必要な方が対象と伺いましたが、乳幼児も一人では避難できません。</p> <p>乳幼児を持つ家族が安心して避難できる避難場所を整備する必要があると思いますので、次の災害が起こる前の準備として是非検討願いたい。</p>	市	<p>ご指摘のとおり、市の福祉避難所は高齢者、障がい者だけが対象ですので、乳幼児なども実現できるように検討します。</p> <p>福祉避難所の場所については、民間保育所・幼稚園、あるいは公立保育所など様々ありますので、まずは何か所かやってみるということでご相談させていただきたいと思います。</p>
12	団体	<p>自分よりハビリの仕事をしていますが、退院する患者さんが帰る場所を探すのが困難だったことがありました。</p> <p>その方はバリアフリーの貸家を探していたのですが、地域包括支援センターに相談しても「自分で探すように」と言われ、部屋を見つけても、大幅なリフォームが必要となることから、大家さんから断られるということを繰り返しました。</p> <p>結果としては見つかりましたが、こうした場合、復興公営住宅の空室は利用できないのでしょうか。</p>	市	<p>災害公営住宅は市で管理している住宅になります。</p> <p>今回、被災者・津波被災者、地震で住めなくなった方向けの住宅として建設したところですが、徐々に空きつつありますので、段階的に来年4月から一般公募もできるようにしていきたいと思っています。</p>

## ふれあい懇談会発言事項内容一覧

団体名：原町区保育所（園）こども園父母の会連絡協議会

No.	発言者	発言内容	回答者	回答事項
	団体	セーフティネットについてです。 もう少し市の方も協力的に動いていただけないでしょうか。 結局は相談員の方の経験などに頼る部分が多く、人手が少ないことも理解していますが、ご家族も相談しにくいところで市に行くわけですので、話を聞くだけではなく、「この人はどこが大変なのか」というところを拾い上げて欲しいと思います。	市	相談体制や施設活用などうまく出来ていないということですので、ご意見として対応させていただきます。
13	団体	生活保護を受給していた患者さんで2年間近く市役所の担当者が住宅を見つけれず、患者さんの生活レベルが下がってしまうというケースがありました。市としてはどのようにお考えでしょうか。	市	生活保護のケースワーカーは3人で、1人当たり80世帯程度を受け持っており、国の基準で言うと少しオーバー気味です。また、生活保護の受給者数も徐々に増えてきている状況です。 後日確認を取らせていただきます。 個人ごとにスキルの違いもありますが、平準化できるように指導して参ります。
15	市	福祉避難所の件ですが、例えば一つの体育館を子供がいる人を中心とした避難所とするやり方もありますし、先ほど出た保育所とか民間の方の協力をいただいて、どこかと契約するなどのやり方があると思いますが、体育館で子供がいられるような避難所と、施設の話とどちらに行きたいと思いますか？	団体	両方必要だと思います。結局、福祉避難所だけで全部受け入れられるわけではありません。乳幼児は特にそういうケアが必要なもので、幼稚園・保育園などが良いと思います。ただ、体育館に行ってから振り分けるのではなく、最初から災害協定のように事前登録した場所にいけるような形が良いと思います。
16	団体	台風第19号の際に相馬市HPは、緊急時にトップページが災害に関する情報にダイレクトに入っていけるようになっていました。南相馬市のHPもせめて市のHPのトップページには川の氾濫情報やライブカメラのリンクを張っていただきたい。	市	状況を確認して、対応したいと思います。  後日確認しましたが、南相馬市のHPも災害に対応したページに切り替えていたことを確認しています。